



鳥取県生協は被爆・戦争体験と平和の想いを次世代に継承し、核兵器廃絶と世界平和に向けた取り組みを進めています。

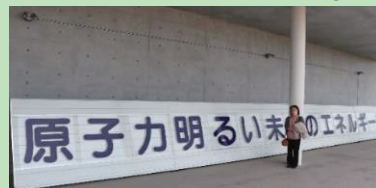
発行：2023.2.27～3.3（毎月第4週）
鳥取県生協 組合員活動グループ 西村
TEL：0858-85-0019/FAX：0858-85-0013
E-mail：nishimura.ko@tottori.coop
ご意見・ご感想をお待ちしています



写真左：展示の説明をする泉田淳さん。写真下：双葉町に設置されていた広報塔

双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館では、震災と原発事故の記憶や記録を保存・展示している。事故により人々の暮らしが一変した様子や、災害発生時の記録を克明に伝えていた。また、廃炉作業の現状や、放射線量の推移など、今の福島も知ることができ

東日本大震災・原子力災害伝承館 災害の記憶を刻んで歩む人々



「復興への挑戦」というフロアでは、事業を再開する企業など、復興に向けて歩む人々の様子も発信されていた。津波と原子力災害で尊厳奪われながらも故郷を立て直そうとする人々の姿も知ることが出来た。

原発に13mの津波が襲った。「私は地元で育ち、残された者の一人です。以前小学校の校長をしていたが、震災のことを伝えたくてこの仕事をしています。この震災を潜り抜けてきた立派な人達が沢山いるんですよ。」と非常に力強く話されていた。



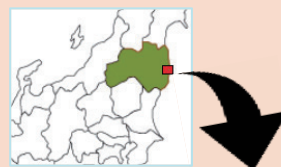
車が行きかう国道6号線（大熊町）



規制区域の中での田んぼの除草作業（大熊町）

国道6号線だけが、車両が行き来しにぎやかだ。途中、富岡町から大熊町にかけて「特定復興再生拠点」の居住可能な地域ではインフラ工事の様子も見られ、徐々に帰還も始まっているように見えた。

復興を妨げる放射能の影響 富岡町、双葉町の風景 私たちはバスで、富岡町から国道6号線を北上し、大熊町に向かう。道沿いの店舗は11年前のまま。駐車場には草木が生え、脇道はバリケードで通行規制がされ、空き家が点在した風景が続く。ここは、放射線量が高く、居住も自由な立ち入りもできない「帰還困難区域」で放射能の影響が復興を妨げていた。



■帰還困難区域：放射線量が年間50ミリシーベルトを越え立ち入りが原則制限される区域
■特定復興再生拠点区域：帰還困難区域の一部に、居住再開を目指し除染やインフラ整備を進める区域

東日本大震災から間もなく12年。福島県内では深刻な放射能汚染で今も3万人以上の方が避難を余儀なくされています。改めて東日本大震災や原発事故について考える機会にして頂けたらと思います。昨年11月、生協役員2名が福島第一原発や周辺の伝承施設を見学したのでご報告いたします。

ふくしまレポート
Part2
高倉美香
鳥取県生協副理事長
西村弘命
組合員活動グループ

2022.11.18
～20訪問

福島第一原発事故から12年 福島はいまを見つめて

たまり続ける汚水タンク 4千名の作業員

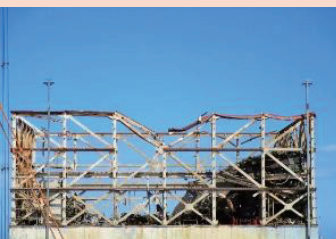
福島第一原発到着後、本人確認や放射線測定器の受け取りなどをを行い、見学のバスに乗り込む。構内は千基以上の処理水を貯蔵する貯水タンクが並び、汚染水から放射性物質を取り除く多核種除去設備（ALPS）などの外観を見学した。作業員の姿も見え1日に延べ4千名が働いているという。

放射能を制御できない 福島第一原発

高台から4機の原子炉建屋を見学した。1号機の屋根は事故



処理水が保管されているタンクが並び



屋根が吹き飛んだままの1号機建屋



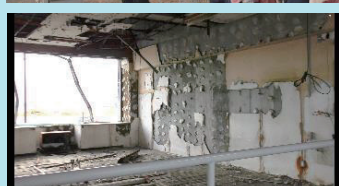
原発建屋前の高台にある放射線モニター 毎時 67.8 マイクロシーベルトと表示

当時のままで、鉄骨がむき出しの状態だった。周辺では防護服を着た作業員が見え、近くの線量メーターは毎時67マイクロシーベルトを示している。構内入口付近は毎時0.2マイクロシーベルトだったので一気に線量は高くなっていた。東電職員の方は10分程度でバスに戻ると言われた。ここでは、人が普通に過ごすことができない異様な場所だと実感した。1～3号機の原子炉内には、核燃料が溶け落ちた多量の「燃料デブリ」があり、絶えず水を注ぎ冷却しなければならぬ。廃炉まで30～40年かかるという。

先月の平和通信1月号の訂正とお詫び：「大学生の福井朱理さん」は「鈴木朱理さん」へ訂正、子どもはみんな守って育てるの「コープ会津」は「コープあいず」、「コープふくしま・みやぎ生協」は「みやぎ生協コープふくしま」、「バルコープ」は「バルシステム」、「茨木」は「茨城」へ訂正、福島医療生協が追記となります。お詫びいたします。



写真上：請戸小学校校外観
写真下：津波被害を伝える一階の教室



原子力伝承館から北へ車で5分、海から約300mに位置する請戸小学校は、地震と高さ15mの大津波に襲われ、1階部分が完全に破壊されたが、児童93名は、幸いにも無事に避難ができた。現在、震災遺構として一般公開されている。校内は、壁や床板、天井がはがれ、鉄筋が垂れ下が

り、水道の蛇口は曲がるなど、津波のすさまじい威力を伝えていた。2階は、請戸小学校関連物品や、震災前の請戸地区の暮らしを知ることができる。また、津波被害の様子や放射能による搜索の遅れなども伝えていた。請戸地区は津波による死者が127名、行方不明者27名と多くの方が犠牲となり、請戸地区に残る建物は小学校だけになってい



請戸地区の模型と震災当時小学生だった子どもたちの10年後の作文の展示

る。当時小学生だった子どもたちの震災から10年後の作文が展示され、震災を乗り越えて、力強く成長した子どもたちの思いが記されていた。

戸小学校関連物品や、震災前の請戸地区の暮らしを知ることができる。また、津波被害の様子や放射能による搜索の遅れなども伝えていた。請戸地区は津波による死者が127名、行方不明者27名と多くの方が犠牲となり、請戸地区に残る建物は小学校だけになってい

福島視察ツアーを終えて
副理事長高倉美香
伝承館に展示されていた「原子力明るい未来のエネルギー」という看板に象徴されるように、福島第一原発事故以前は、原発と共に暮らし、原子力に対して、明るい展望を持っていたことを感じました。伝承館の展示に、当時の子どもたちが書いた作文があり、原子力エネルギーが未来への希望と誇りだと感じていた作文があり、当時の子どもたちの純粋な想いと、震災と原発事故がもたらした傷跡の対比には、心が痛みました。今後廃炉には長い年月がかかりますが、震災を教訓としながら福島の方に心を寄せ、原子力災害についても考えていただけたらと思います。

原子力災害伝承館や請戸小学校のホームページをご覧ください。次回3月号 3月20日 配布
アルプス処理水放出について

自然災害緊急募金(パキスタン洪水)の支援のため 鳥取県生協の災害支援基金「虹のかけはし」より15万円の基金を 日本ユニセフ協会へ拠出しました。 (送金日2022年11月18日)

パキスタンでは大洪水から4ヶ月が経過していますが、未だに1千万人近くの子どもたちが緊急支援を必要とし、十分な避難場所もないまま厳しい冬を迎えています。パキスタンをはじめとする世界の子どもたちのために引き続きのユニセフ募金へのご支援をよろしくお願いいたします。

被害の状況(日本ユニセフ協会ホームページから抜粋)

2022年8月29日イスラマバード(パキスタン)/ジュネーブ 発

100年来の記録を更新する降水量で、過去30年の平均降水量の5倍以上の量の雨がパキスタン南部に降り、4州のうち3つの州で大規模な鉄砲水や浸水が発生。

2022年9月15日イスラマバード(パキスタン)発

壊滅的な大洪水は、少なくとも528人の子どもたちの命を奪う。推定で1,600万人の子どもたちが影響を受け、少なくとも340万人の子どもたちが、命を守るための緊急支援を必要としている。

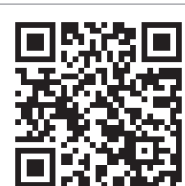
2022年11月3日イスラマバード(パキスタン)/ニューヨーク発

パキスタン史上最も甚大な被害をもたらした洪水により、約2万7,000校の学校が損壊・破損し、200万人以上の子どもたちが依然として全く学校に通えない状況にあります。

2023年1月9日イスラマバード発

国家非常事態が宣言されてから4カ月以上が経過してもなお、最大400万人の子どもたちが洪水によって汚染され、よどんだ水の近くで生活し、彼らの生存と健康的な生活が脅かされている、とユニセフ(国連児童基金)は本日警鐘を鳴らした。

詳しくはこちらから



日本ユニセフ協会ホームページ



© UNICEF/UN0761223/Butt
シンド州の自宅前で、ユニセフから受け取った毛布に包まり、身を寄せ合って暖を取る家族。(パキスタン、2023年1月4日撮影)

3月号 くらす通信



毎日のちょっとした 困りごとサポート!

お手伝いできる方 **募集中!**

1時間900円

外作業: +200円

時間外作業: +200円

生協「くらし助け合いの会」

くらしの中で困った
ことは生協に相談

サポートを
おねがいする人

自分の生活リズムに
合わせてサポート活動

サポートする人

利用料金 **1000円**/1時間

活動費 **900円**/1時間

組合員ならいつでも利用・活動できます!

- 月～金曜日(8:00～17:00) ● 時間外・屋外はそれぞれ200円追加料金がかかります。
 - 交通費は別途支払いとなります。 ● 料金の支払・受取は生協登録口座振替で行います。
 - 利用料金と活動費の差額は事務手数料とします。
 - コロナ禍や天候により活動を休止することがあります
- ☆ 詳しくは下記までお問い合わせください。

活動会員さんの声

早く通常の「相互援助活動」が充実し、小さな困りごとにも援助の手が届きますことを願うばかりです。 西部 女性

できることは限られると思いますがお役に立てることがありましたらお声かけください!! 西部 女性

くらし助け合いの会の 応援をおねがいします!

毎週できます	注文番号	募金額(一口)
くらし助け合い募金	1520	100円

「ユニセフ募金」

募金番号	募金額(一口)
1522	100円



ユニセフ
ミャンマー指定募金学習動画配信中!

ユニセフ募金は世界各地のユニセフ活動に活用される「一般募金」とミャンマーの女性と子ども達のための栄養・支援プログラムに役立てられる「指定募金」に分けて送金しています。

《各募金に関する問合せ先》 鳥取県生協 組合員活動グループ ☎0858-85-0019 (月～金:9:00～17:00)

「平和募金」

募金番号	募金額(一口)
1523	100円

鳥取県生協では、平和の大切さを学び、次の世代に語り伝えていく活動を行うために、毎年、平和募金へのご協力をお願いしています。

《ご案内》

第56回 消費者大会

基調講演～認知症を地域やつながりの中で支える～

内容

私たち自身の問題として認知症を正しく学ぶことが大切。

それぞれの年代に応じた認知症との付き合い方のおはなし。

講師 よしの 吉野 りゅう 立氏

2023年

3月25(土)

10:00～12:00

とぎん文化会館 第1会議室

【参加申込】 ※締切 3/10(金)

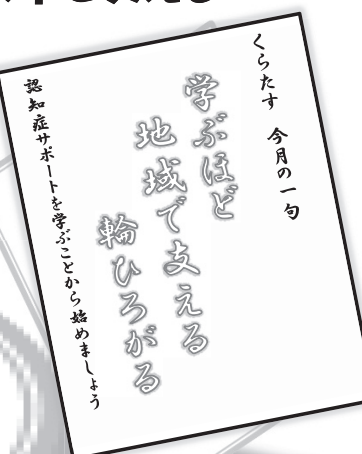
① 申込用紙から

注文番号: **17850**

注文数: 参加人数

② イベントカレンダーから

鳥取県生協ホームページから「イベントカレンダー」をひらき、イベント申込フォームに必要事項をご記入ください



千羽鶴作り(糸通し作業)申し込みのご案内 (3月末まで受付中)

組合員さんから寄せられた折り鶴に糸を通し、千羽鶴にする取り組みをしています。

千羽づくり(1セット): 100羽の折り鶴、糸、ビーズ (一束50羽で2本作成いただきます)

作業時間: 1本30分程度

申し込み番号: **17833** セット数も記入ください。

注文数「1」で1セット(100羽)のお届けです。

注文書やネットから

いつでもご注文いただけます

※申し込み後3週間後を目途に「千羽鶴づくりセット」をお届けします。

※いただいた鶴は「千羽鶴」にし、来年度の取り組みの中で、平和記念公園へ寄贈したいと思います。

お問い合わせ くらし助け合いの会事務局 **090-3172-1432** 月～金 9:00～17:00